

きらめき彫刻祭

主催 ストレンジャーによりしく実行委員会

日程 令和6年2月10日(土)~25日(日)

会場 朝倉彫塑館、旧平櫛田中邸 など台東区・文京区の計11会場

この企画では、「彫刻ってなんだろう」をテーマに、台東区・文京区の計11会場で、作品の展示やワークショップ、イベント等が開催されました。キュレーター11組、アーティスト27名が参加し、アーティストが主体となって実施された芸術祭です。

●概要●

会期 令和6年2月10日(土)~25日(日)

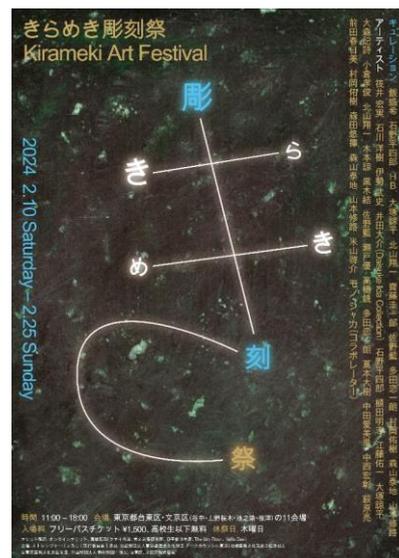
会場 朝倉彫塑館、貸はらっぱ音地、旧平櫛田中邸、半澤美術店、櫻木画廊、感應寺、haco-art brewing gallery、LIBRE、ギャラリー美の舎、The 5th Floor、渡辺歯科医院(計11会場)

●開催の様子●

【各会場での“彫刻”展示】

「彫刻」という言葉が「sculpture」から翻訳され生まれた明治時代当時は、木彫か塑造(粘土)が「彫刻」と言われていました。一方現代では、音や光、3Dプリントを使うなど、「彫刻」の素材・技法・思考は広範囲にわたります。

各キュレーター・アーティストが考える、多様な「彫刻」を通じて、来場者それぞれが「彫刻」について考える展示が各会場で行われました。



朝倉彫塑館



旧平櫛田中邸



半澤美術店



感應寺



haco-art brewing gallery



LIBRE

【関連イベント】

会期中には、色々なジャンルのアーティストによるイベントや、親子で一緒に楽しくアートに触れられるワークショップ、キュレーターを交えた座談会なども開催されました。

<トークイベント>

彫刻祭の開催経緯や、彫刻・芸術に関するテーマを設けた座談会が行われました。

また、彫刻家や美術評論家など様々なゲストを招き、現代彫刻について、キュレーションのあり方、アーティストが主体となって企画を行う意義などについて、意見交流が行われました。



<ワークショップ>

身近な紙を使って彫刻を考える親子向けワークショップが開催されました。折ったり切ったりした色紙を針金に付け、思い思いの彫刻作品を制作していました。



<謎解きウォークラリー>

各会場で芸術祭を楽しみながら彫刻や開催地域についても学べる謎解きイベント。

会場マップを片手に街を歩く参加者の姿が見受けられました。



<アーティストフリーマーケット>

アートスペース「Hello Bee」を会場に、様々なイベントやアートマーケットが開催。

<彫刻祭コラボレーションビール>

都内の醸造所と協力をし、「きらめき彫刻祭」をイメージしたオリジナルビールを制作。彫刻祭会期中、会場近隣のお店にて販売されました。

【感想等】

来場者からは、「若い作家の作品に良い刺激を受けた」「複数の会場を回る展示に新鮮な楽しさを味わえた」「地域を知る良いきっかけになった」などの感想が寄せられました。

また、企画参加者からも、「彫刻でこの規模の芸術祭はなかなか無く、参加できて非常にうれしい」「他の作家の仕事を見ることができた」「自分のファンが他の作家のことも認知してくれ、その逆もあり、業界全体が盛り上がると思った」といった声があり、来場者のみならず、参加アーティストにとっても、新たな発見や繋がりを広げる彫刻祭となりました。

撮影：竹久直樹、花月啓祐